

解熱鎮痛薬

K O L B E R O N

頭痛・歯痛・生理痛・発熱に

コルベロン[®]鎮痛薬

第②類医薬品

コルベロン鎮痛薬は、解熱鎮痛成分であるイソプロピルアンチピリン、エテンザミドと、これらの働きを助けるカフェインを配合し、痛みや悪寒・発熱に速く効き、すぐれた効果をあらわします。
さらに、制酸作用と胃粘膜の保護作用をもつ乾燥水酸化アルミニウムゲルを配合していますので、胃にやさしい解熱鎮痛薬です。
なお、眠くなる成分は配合していません。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用時は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児（15歳未満）
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

| 関係部位 | 症状 |
|-------|------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 悪心・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|---|---|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさとともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群) | 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷 ^{やけど} 様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。 |
| ぜんそく | |

- 5～6回服用しても症状がよくならない場合

効 能

頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

1日3回を限度とし、次の1回量をなるべく空腹時をさけて服用してください。
服用間隔は4時間以上おいてください。

| 年齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|-----------|---------|--------|
| 大人(15歳以上) | 2錠 | 3回まで |
| 8歳以上15歳未満 | 1錠 | |
| 8歳未満 | 服用しないこと | |

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児（15歳未満）に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
[誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります]



成分・分量

白色の錠剤で、2錠（大人1回量）中に次の有効成分を含んでいます。

| 有効成分 | 2錠中 | 作用 |
|---------------|-------|--------------------|
| イソプロピルアンチピリン | 150mg | 痛みをおさえ、熱を下げます。 |
| エテンザミド | 250mg | |
| カフェイン | 50mg | 痛みをおさえる成分の働きを助けます。 |
| 乾燥水酸化アルミニウムゲル | 70mg | 胃粘膜を保護します。 |

添加物としてクロスカルメローソナトリウム、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります）
- (4) 使用期限（外箱に記載）を過ぎた製品は服用しないでください。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

杏林製薬株式会社 学術部
電話 03(3293)3412

受付時間:9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

発売元
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地



製造販売元
前田薬品工業株式会社
富山県富山市向新庄町1-18-47